

## 演 題 咬合再構成の難しさを実感して

演者名 豊田正仰

日 付 2015年2月24日

### Keywords

1. 咬合高径の設定
2. Eichner分類
3. 顎関節

### 抄録

顎口腔機能の調和を保つ上で、適正な咬合高径を付与することは重要である。咬合を変更させることが可能としても、何らかの基準がなければ、垂直的咬合高径は決定できない。FrankSpearも述べているように絶対に正しい咬合高径というものには存在しない。

今回、安易に咬合挙上が必要と判断し治療を開始した症例を提示し、今までの経過と反省、これからの治療についてを発表させていただきます。諸先生方のご指導・ご教示を頂ければ幸いです。また現段階での反省点に対するご指摘をどうぞ宜しくお願い申し上げます。